



御殿山 あゆみだより

URL : <http://www.seirei.or.jp/nurseryschool/gotenyama>

No.323

2023年11月号

聖隷福祉事業団
御殿山あゆみ保育園
宝塚市御殿山 2-1-70
TEL 0797-85-4854
FAX 0797-85-1400

実りの秋です。駐車場の外側におやじクラブのお父さん方が畑を作ってください、初めて植えたさつま芋を収穫しました。「おおきい！」子どもたちは歓声を上げながら、お芋掘りを楽しみました。今月は収穫感謝祭がありますが、収穫の恵みと共に、全ての命を与えてくださっている神さまに感謝したいと思います。

10月は幼児クラスであおぞらひろばがありました。乳児クラスは参加していませんので、振り返りを少しお伝えします。当日はお天気にも恵まれ、こどもひろばで親子そろって楽しく体を動かすことが出来ました。4,5歳児クラスの保護者リレーには沢山の方にご参加いただき、あおぞらひろばは一層盛り上がりました。中には勢い余って転倒された方もいらっしゃいましたが、一生懸命走る姿は子どもたちの胸にしっかりと届いていると思います。本当にありがとうございました。

ここ数年、コロナ禍もあり園行事の在り方について考える機会を与えられ、形を変えたり、縮小したりしてきました。その中で、『子ども主体の形を大切にしよう』と考え直すきっかけにもなり現在にいたります。あおぞらひろばでは、

- ・やってみたいことを子どもたちで出し合い、話し合う。
- ・ダンスなどの動きや振りを自分たちで考えて作る。(3歳児も自分たちで考えました！)
- ・リレーの順番や作戦を友だちと相談して決める。

等々多くの場面を子ども主体で進めていきました。そして内容は、日々少しずつ積みかさねてきたものであり、今子どもたちが自信をもって取り組めるものを、担任が必要に応じて後押ししていきました。

また3歳児(つくしぐみ)は、いつもは出来ていても、保護者の方がいると「お家の人と一緒にいたい…」という思いが勝る年齢です。担任はそのような子どもの発達をとらえて、プログラムを全て親子競技にしました。当日は、保護者の方がすぐそばにいる安心感と、一緒に思い切り楽しんでくれる嬉しさから、みんないつも以上に楽しむ姿が見られました。

昨年は、3学年クラス別で行いましたが、普段の生活の中で自然な形で異年齢が交わっていることもあり、今年は3歳児クラスは単独、4,5歳児クラスは一緒に行くことにしました。2クラス一緒にしたことで、他クラスの競技の時に懸命に応援する姿があったり、クラスを超えて一緒に競技を楽しむことが出来たりと更に盛り上がったように思います。私も応援につい熱が入ってしまい、週明けには喉がかわれてしまいました。今後もコロナ禍前に戻るといよりは、より子ども主体に進化したあおぞらひろばを考えていきます。そして年度の後半もひとり一人の子どもたちの意欲を引き出しながら過ごしていきたいと思います。

あおぞらひろばウラ話…

あおぞらひろばの数日前、職員が保護者リレーに参加するための選考会がありました。走るからには大人も本気です。もちろん、私も老体に鞭を打って走りました。が、結果はあえなく落選…しかし選考会当日、子どもたちは走る保育者たちを大きな声で応援してくれました。応援の力は凄いですね！そのおかげで、無理をすることはいけないと分かっているから、年甲斐もなく勝ちたいという気持ちに火がついて必死で走ってしまいました。体を動かすことの良い気持ちを子どもたちが教えてくれました。

岸本 正子

神の言葉で生きる

イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

(マタイ4:4)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

イエス様が神様のお働きを始められる時、荒野で悪魔の試みを受けられました。その時、悪魔は、石をパンに変えてみよと誘惑してきましたが、イエス様は上掲の御言葉をもって誘惑を退けられました。

私たちは、きちんと食事をとって体の健康が保たれます。しかし、私たちの魂は口から入る食べ物では養われません。耳で聞く、または目で読む神の御言葉によって、私たちの魂が養われます。天地創造の昔、神様は人をご自分のかたちに造られました。神のかたちに創造された私たちが真に生きるのは、神の御言葉によるのです。ですから、神の御言葉が語られる週に一度の礼拝は、とても大切なのです。

物質文明が発達した今日、ともすると心の養いがないがしろにされがちの中で、私たちを本当の意味で生かす神の御言葉の大切さを、より深く知りたいと願います。

11月 行事予定



★13日(月) 収穫感謝祭

幼児クラスも乳児クラスも各クラスで、感謝の礼拝を守ります。

礼拝後は日頃お世話になっている施設をクラスごとに訪問し、神様の恵みの喜びを分かちあいます。保護者の方に野菜の持ち寄りをお願いします。

★25日(土) たのしいつどい(ひまわりぐみ、すみれぐみ) 保護者参加行事です

保育室、園庭、吹き抜けなど、普段子どもたちが過ごしているスペースを開放します。どんなおもちゃが好きなのかな?どんなことして遊んでいるのかな?日頃、なかなか見ていただくことが難しいので、この日は、親子でたっぷり楽しんでいただけたらと思います。詳細は、後日配信で、お知らせいたします。(写真・ビデオ撮影は、ご遠慮下さい)

★27日(月) アドベント礼拝①

12月16日クリスマス祝会までの1ヶ月、子どもたちと一緒に「当日までを楽しみに待つ」日々を過ごします。礼拝の中で、イエス様が生まれるまでの話を聞き、祝会のページェントに繋がっていきます。幼児クラスはホールで、すみれぐみはふきのとうで、0.1歳児は各クラスで礼拝を守ります。

クリスマス祝会当日の詳細については後日配信でお知らせいたします。

今年度は乳児のクリスマス祝会礼拝も守りたいと思いますので、保護者の皆様にもご参加いただきたいと思います。

*あおぞらひろばを10月14日、こどもひろばにて行いました。(つくし・めだか・ひばりぐみ)

子ども達にとっては普段遊んでいるこどもひろばでの開催だったので、いつも通り楽しくすることができました。子ども達はお父さんやお母さんと笑顔で楽しむことができました。保護者の皆様にも2名ずつで参加していただくことができたことも、嬉しく思いました。いろいろとご協力いただきありがとうございました。

アンケートへの回答もありがとうございました。アンケート結果も少しお伝えします。

- ・楽しく参加しました。子ども達の頑張っている姿を間近でみることでよかったです。
- ・保護者リレーで子ども達を交えて親子でバトンタッチも良いかなと思いました。
- ・障害物リレーが少し長く感じました。競争だったほうが良かったかもしれませんが内容は楽しかったです。
- ・おじいちゃんおばあちゃんも来たがっていました。
- ・小さな子どもは緊張してしまうことが多いと思うのですが、保護者参加型だったので子どもが楽しめていた。
- ・全体的に良かったです。最後の方は観客席がどこなのかわからなくなっていたので、分かり易いほうがよい。
- ・意外と保護者のリレーが面白かったです。
- ・ずっとコロナで縮小だったので、久しぶりの合同のあおぞらひろばで見ごたえがありました。
- ・日頃の保育の先にある種目内容で子ども達が自ら取り組んでいる姿が良かったです。
- ・今年、小学生の参加ができることになっていましたが、小学生の態度が良くなかったと思いました。

お願い

*体調管理について

保育園は、健康な子どもさんをお預かりする施設です。(体調がすぐれない場合は、病児保育、病後児保育があります。)しっかりと体調を整えて、登園して頂きますよう、よろしくをお願いします。(医師の指示があった時には、ご相談ください。)また、ご兄妹でどちらかのお子さんが感染症に罹患した場合には、ご兄妹一緒にお休みいただきますようお願いいたします。集団生活の為、感染が広がるリスクを伴いますのでご協力をお願いいたします。